

第6学年道徳科学習指導案

日時 令和2年11月19日(木) 5校時

児童 6年生 12名

授業者 桐山 佐江子

- 1 主題名 「許す」ということ
- 2 教材名 「ブランコ乗りとピエロ」(学研)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

小学校学習指導要領における内容項目「B 主としてひととの関わりに関すること」の[11 相互理解、寛容][第5学年及び第6学年]に「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」とある。これは、広がりと深まりのある人間関係を築くために、自分の考えを相手に伝えて相互理解を図るとともに、謙虚な広い心をもつことに関する内容項目である。[第3学年及び第4学年]では「相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること」を指導しており、[中学校]の「それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」へ発展する。

本時は、特に寛容について重点を置いて考えを深めさせたい。

(2) 児童について

児童にとって「相互理解・寛容」については、今年度初めての学習となる。

普段の様子を見ると、お互いのよさに目を向け、助け合ったり受け入れたりして仲良く生活することができている。問題が起きて、相手の立場や考えを聞いたり自分の考えを伝えたりすることで、互いの考えを理解し、受け入れて仲直りすることができる。しかし、集団の中でのお互いの立場を考えてどちらかが我慢していたり、下級生だから仕方なく許したりしている場合が多く、自分も同じような過ちを犯すかもしれない、相手も自分も完璧な人間ではないという謙虚な気持ちをもっている児童は少ないと思われる。

寛大な心をもって他人の過ちを許すことができるのは、自分も過ちを犯すことがあるからと自覚しているからであり、自分に対して謙虚であるからこそ他人に対して寛容になることができる。このように、寛容さと謙虚さが一体のものとなったときに、広い心が生まれ、それは人間関係を潤滑にするものとなる。

自分のもの見方や考え方が深まるこの時期に、謙虚な気持ちの大切さを考え、寛容さについての考えを深めることは、児童にとって有意義なものだと考える。

(3) 教材について

本教材は、自己中心的な振る舞いをするブランコ乗りのサムに腹を立てていたピエロが、サムの真摯に演技する姿に向き合ったり、自分もサムと同じように目立ちたい気持ちがあったと反省する謙虚な心やサーカス団全体の中の自分の役割に気付いたりする。そのことによって、サムの考えや立場を受け入れ、二人で意見を出し合いながらサーカスを成功に導く場面が描かれている。ピエロの心の動きなどから、広い心で接することの意味や自分とは異なる立場や考えを受け入れることの大切さについて深く考えることができる教材である。

中心場面は、大王の観覧公演が終わった控え室でピエロがサムに語りかける場面であると考えた。「ブランコから引きずり下ろしたい」と考えるほどサムを憎らしく思っていたピエロの心から「サムを憎む気持ちが消えた」のはなぜか考えさせることでねらいに迫りたい。

そこで指導に当たっては、「相手を許し、受け入れるためには何が必要か」ということについて、多面的・多角的に考えさせ、寛容さと謙虚さが一体となった広い心で、自分と異なる意見や立場を尊重しようとする心情を育てたい。

4 学習指導過程

(1) ねらい

「許す」という判断の中にある多様な価値について多面的・多角的に考えることを通して、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする道徳的心情を育てる。

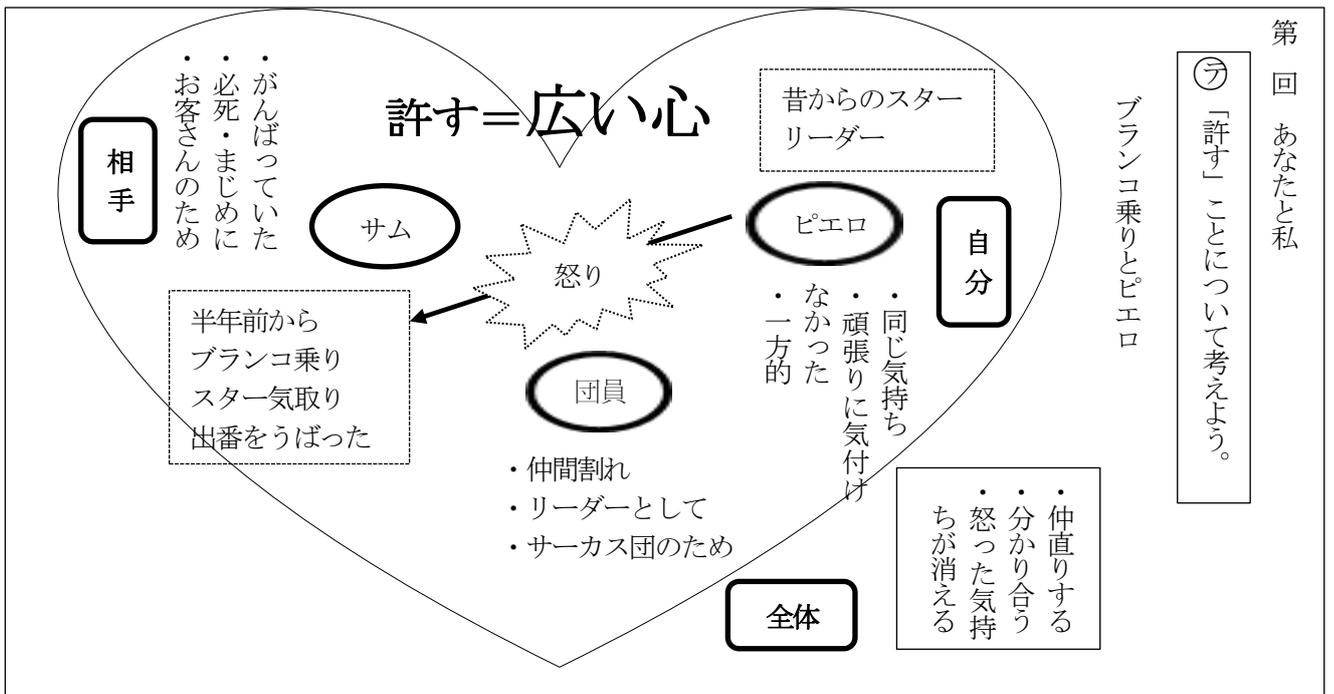
(2) 展開

段階	学習活動と主な発問 ・学習活動 ○発問 ◎中心発問	予想される児童の反応	○支援 ★評価（方法）
気づく (導入) 5分	1 道徳的価値への動機付け、教材への方向付け ・ 「許した」経験「許さなかった」経験を想起させ、道徳的価値への動機付けをする。 ○ 人を「許したこと」「許さなかったこと」はありますか。 ○ それは、どんな時でしたか。 ○ 「許す」とはどういうことなのでしょう。 ・ 学習テーマを設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「許す」ということについて考えよう</div>	・ 嫌なことをされたけど、相手が謝ったから許した。 ・ 相手の反省している気持ちがわかったから許した。 ・ 謝られたけど、心がこもっていなかったから許さなかった。 ・ 納得がいなくて許さなかった。 ・ 仲直りをする事。 ・ 怒っている気持ちがなくなること。 ・ わかり合うこと。	○ 経験を想起させ、「許す」「許さない」に意識を向ける。 ○ 「許す」ということについて深く考えている児童は少ないと思われる。曖昧な自分に気付かせ、問題意識をもたせる。
つかむ (展開前段)	2 教材を通して道徳的価値に迫る ・ 教材を範読する。 ○ ピエロとサムをどう思うか考えながら聞きましょう。 ・ 教材をもとに考える。 ○ ピエロの出番を奪ったサムのことをどう思いましたか。 ◎ ピエロは、どうしてすごく憎んでいたサムを許したのでしょうか。	・ ひどい。・自分勝手。 ・ 生意気で威張っている。 ・ 嫌な感じ。 ・ サムがすごく頑張っていることに気付いた。(相互理解)	○ 内容を捉えやすいように登場人物、あらすじを説明してから読む。 ○ 登場人物について問い、ピエロの怒りに共感させる。ピエロの一方的な怒りを批判的に捉える児童がいたら、認め次の発問に生かす。 ○ 「相手の立場や状況を理解する」(相互理解)「自分も悪い、相手に学ぶところがあると気付く」(謙虚さ)「自分の

<p>30分</p>	<p>3 道徳的価値を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳の価値を理解するための発問について話し合う。 ○ 「許す」ために大切なことは何でしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> サムもサーカスを成功させようと必死だったことが分かった。(相互理解) 自分は、サーカス団をまとめる立場なのに怒っている、団員同士の仲が悪くなってしまったと思った。(集団) 団員同士でいがみ合っている、お客さんを楽しませる演技ができないと思った。(集団) 自分にもサムと同じように「目立ちたい」という気持ちがあったことに気付いた。(謙虚さ) サムのおかげで自分もよい演技ができた。(謙虚さ) サムの頑張りを認めていなかった自分に気付いた。(謙虚さ) <p>相手の悪い面ばかりに目を向けるのではなく、相手のよさや全体のこと、自分の事などいろいろな面からみること。</p> <p>自分も相手も完璧な人間ではないということを考え、相手を受け入れること。</p>	<p>ことだけでなく、集団や他者のことを考える」(集団生活の充実)などの価値ごとに整理して板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「頑張っていただけで許せるのか」「ピエロは我慢して(仕方なく)許したのか」などの補助発問で揺さぶりをかけ、多面的な考えを引き出す。 ○ 児童の実態から、「謙虚さ」についての発言は出にくいと予想される。「悪いのはサムだけなのか」と投げかけ、「謙虚さ」について考えることができるようにする。 ○ 児童の反応を見ながら補助発問や問い返しを行い、自分の弱さを認めること(謙虚さ)は大切で必要だが難しいという人間理解を深めさせたい。 ○ 「許す」という判断をするのにもいろいろな理由を考える友だちの存在に気付かせ、他者理解を深めさせたい。
<p>見つめる(展開後段)</p>	<p>4 道徳的価値について自己を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめ、よりよい生き方について考える。 ○ 「許す」ことについて、学習して考えたことと、今までの自分はどうか振り返って書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手のよさや頑張りを見つめることは、いつもしているが、それが、「許す」ことにながっていたとわかった。 けんかになる時は、自分にも悪いところがあるから、一度落ち着いて、自分はどうか考えた。自分も相手と同じように失敗することがあると思えば許せると感じた。 学校のリーダーとして、ピエロのように全体のことを考え 	<p>★ 自分と違う意見や立場を尊重することのよさや、許し、受け入れる時に自分が大切にしたいことについてふりかえり、様々な価値の中から自分に必要なことを選択し、これからの自分の生き方に結びつけて考えている。(ノート)</p>

8分		て、相手の考えを受け入れるのは大切だと思った。許せないことがあっても、仲が悪いまましていると全体に迷惑がかかるということを考えて行動していきたい。	○ 道徳ノートは、自分と向き合うものとして、書いたものは発表しない。
あたためる 終末 2分	5 心を整理して自己を見つめる ・ 学習のまとめを行う。 ○ 間違っただけをしている人を見たら、自分だって間違いを犯したことがあると思い起こそう。欲深い人を見たら、自分もかつてそうだったと思おう。 ○ 弱い者ほど相手を許すことができない。許すということは、強さの証だ。 マハトマ・ガンジー		○ 名言を紹介し、寛容と謙虚が一体となった広い心をもつことのよさを感じさせるとともに、自分と異なる意見や立場を尊重しようとする心情につなげたい。

(3) 板書計画



教材分析表（ 6 年）

教材名 ブランコ乗りとピエロ（学研）【B 相互理解・寛容】

<p>【内容項目の理解】</p> <p>◎ 寛容（許すときに必要な要素）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と異なる意見や立場を尊重する相互理解 ・ 自分にも同様のことがあるという謙虚さ ・ 集団の中での自分の役割を果たす集団生活の充実 	<p>【授業の方向性】 A 価値を更に深める・広げる。B 価値の要素に気づく。 B：「許すこと」の要素である、「相互理解」「謙虚さ」「集団生活の充実」に気づかせ、「寛容」をつかませ、価値について深めさせたい。</p>				
<p>【中心場面（人間理解の場面）】</p> <p>○ 大王の観覧公演が終わった控え室でピエロがサムに語りかける場面。「ブランコから引きずり下ろしたい」と考えるほどサムを憎らしく思っていたピエロの心から「サムを憎む気持ちが消えた」のはなぜか考えさせる。</p>	<p>ねらい</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">何をさせることにより、</td> <td style="padding: 2px;">「許す」という判断の中にある多様な価値について多面的・多角的に考えることを通して</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">どの道徳の諸様相を</td> <td style="padding: 2px;">広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする道徳的心情を育てる。</td> </tr> </table>	何をさせることにより、	「許す」という判断の中にある多様な価値について多面的・多角的に考えることを通して	どの道徳の諸様相を	広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする道徳的心情を育てる。
何をさせることにより、	「許す」という判断の中にある多様な価値について多面的・多角的に考えることを通して				
どの道徳の諸様相を	広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする道徳的心情を育てる。				
<p>【この場面の話し合いでの教師の意図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の立場や一生懸命さに目を向けることの大切さ ○ 我慢したり、見下したりするのではなく、自分にも過ちを犯すことがあるという自覚からくる謙虚な気持ちを持つことの大切さ ○ リーダーとして団をまとめるという役割 	<p>【「自己を見つめさせる」活動で予想される考え】</p> <p>○ 許すときには、相手の悪いところだけ見るのではなく、相手のよいところや全体の中での自分の役割、自分の悪いところに目を向けて、心を広げることが大切だと思った。今まで、自分の悪いところにはなかなか気づけなくて相手を責める気持ちが大きかったけど、自分も相手と同じように失敗することがあるということを思い出せば、許すことができると感じた。</p>				

発問構成	予想される児童の反応
○ピエロの出番を奪ったサムのことをどう思いましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・サムは、自分勝手にひどい。悪い。 ・生意気で威張っている。
◎ピエロは、どうしてすごく憎んでいたサムを許したのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・サムが頑張っていることに気付いた。・自分も悪いところがあったと反省した。 ・このままではサーカス団が仲間割れしてしまう。
○許すために大切なことは何でしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・心を広げて出来事を見ること。・相手の立場や考え方をわかってあげること。 ・自分の足りないところにも目を向けて相手ばかり責めないこと。